

事業番号	155
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	畜産振興対策事業				担当課	農林水産課	
事業期間	開始年度	～	終了予定年度		担当係	農業水産振興係	
総合計画	めざすまちの姿	6 産業の発展や交流による活力あふれるまち					
	目標	② 食を守る農業（農業）					
	成果指標	ブランド化された農畜産物の数（累計）			中間目標（H27）	4	最終目標（H32）
予算区分	一般会計	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	4 目 畜産業費			
	細事業	162 畜産関係経費					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令	臭防止法 水質汚濁防止法 肥料取締法 湖西市畜産環境衛生対策協議会補助金交付要綱					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象（誰のため）	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他 畜産農家						
事業の目的（何のため）	○畜産農家の経営安定を図る。 ○畜産の臭気対策に重点をおいた事業を展開する。						
内容（概要）	▶畜産振興対策事業 市内の畜産農家により組織されている「湖西市畜産環境衛生対策協議会」が行う事業に対して補助金を交付する。 ▶臭気対策事業 湖西市畜産環境衛生対策協議会が実施する密閉化・消臭装置設置・消臭飼料等の購入に対する補助事業に対して補助を行う。						
これまでの改善・見直しの状況	▶臭気対策事業のメニューや補助率の改正を行っている。						

2. コスト

（単位：千円）

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	5,304	4,349	3,916	(内訳)
	決算	1,324	2,894		旅費、需用費、役務費、委託料等 350
財源内訳	国庫支出金				報償費、負担金、補助金、交付金等 2,544
	県支出金				2,894
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,321	2,894	3,916	
職員人件費	4,180	4,038	4,026	人工	0.6 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

活動指標	内容		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	活動指標	畜産物PR実施	回	目標	3	3	3
実績				4	2		
臭気対策事業実施件数		件	目標	10	10	10	90%
		実績		5	9		
			目標				
			実績				

実績・改善	平成23度活動内容	【主な事業】 ・畜産振興対策事業（畜産環境衛生対策協議会補助金） ・臭気対策事業（臭気対策事業費補助金）				
	課題・問題点となった事項	①畜産振興対策事業 家畜防疫対策については、安定した畜産業経営の土台となり、また畜産業の情報発信や消費拡大PRも畜産振興として非常に重要だと考えるが、活動の具体的成果が見えにくい。 ②臭気対策事業 畜産事業者の負担を伴うため、景気状況によって補助金の申請状況にばらつきがあり、大きな予算残が出ることもしばしばある。				
	どう対処したか	①これまでの活動を継続しつつ、地産地消やブランド化にも力をいれるよう協議会を指導し、更なる畜産振興を図った。 ②利用促進のため、農家へ更なる利用の呼びかけを行った。				
	改善点					効果額 H24-H23 (千円)

自己評価	事業目的の達成状況	・畜産振興対策事業（畜産環境衛生対策協議会補助金）→協議会として行う、家畜防疫対策、畜産環境対策、畜産業の情報発信・消費拡大PR活動などの事業に対する補助であり、畜産振興のために効果がある。 ・臭気対策事業（臭気対策事業費補助金）→畜産業者で組織する協議会に補助を行うことで、臭気対策を推進している。市内の多くの農家が補助を利用して臭気対策を行っており、畜産臭気の苦情件数も横ばいから減少傾向で一定の効果がある。			
	※必要性事業を廃止・休止したときの影響	臭気対策が実施されなくなること、及び畜産農家との繋がりが弱くなると衛生指導が行き届かなくなることから、悪臭苦情が増加する。			
	判定	A 継続	現行の内容で実施	事業主体	市
	判定理由	畜産施設の周辺地域では悪臭が問題となっており、臭気対策は市が継続して取り組む必要がある。			
	今後の方向性	県・農協の協力を得て、意識改革の拡大、臭気対策及び周辺の美化を図る。			